

作成日 2008/01/30
改訂日 2013/09/09

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称 マルチ E P (主剤) S
製品コード MK-126
整理番号 hinpo58-8
会社名 株式会社タイルメント
住所 岐阜県大垣市浅西 1 - 4
担当部門 品質保証部
電話番号 0584-89-7577
緊急連絡電話番号 0584-89-2225
FAX番号 0584-89-1147
推奨用途及び使用上の制限 接着剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 可燃性固体 区分2
健康に対する有害性 発がん性 区分2
上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素 シンボル



注意喚起語 危険有害性情報

警告
H351 発がんのおそれの疑い
H228 可燃性固体

注意書き 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。(P202)
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。
(P210)
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)
容器を接地すること。アースをとること。(P240)
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。(P241)
指定された個人用保護具を使用すること。(P281)
火災の場合には、適切な消火剤を使用すること。(P370+P378)
ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。
(P308+P313)
施錠して保管すること。(P405)
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

救急措置

保管 廃棄

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物
一般名 エポキシ樹脂系接着剤

成分	濃度又は濃度範囲	化学特性	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
エポキシ樹脂等	30%~40%				
充填材 (炭酸カルシウム・	60%~70%		(1)-122	2-(4)-899	471-34-1

成分	濃度又は濃度範囲	化学特性	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
等)					
酸化チタン(IV)	5%未満	TiO ₂	(1)-558		13463-67-7
その他	5%未満				

分類に寄与する不純物及び安 情報なし

定化添加物

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及 酸化チタン（I V）（政令番号：191）（5%
び有害物（法第57条の2、 未満）
施行令第18条の2別表第9）

4. 応急措置

吸入した場合

吸入して、かゆみ等の異常が生じた場合は速やかに新鮮な空気のある場所に移し、安静・保温に努め速やかに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

付着物を拭き取り、中性石鹼を使ってよく洗い落とす。外観に変化が見られたり、かゆみ、炎症等の症状が出た時は医師の診断を受ける。（汚染された衣服や靴は脱ぐ）

目に入った場合

直ちに多量の水で15分間以上洗眼し、医師の診断を受ける。
コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。

飲み込んだ場合

無理に吐かせないで、直ちに医師の診断を受ける。水で口の中を洗浄してもよい。被災者に意識がない場合は口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤

粉末・炭酸ガス・泡。

特有の消火方法

付近の着火源を断ち、消火剤を使用して風上から消火する。消火に際しては、保護衣を着用するほか、状況によっては保護手袋、保護マスク等を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護
具および緊急措置

漏出した場所の周辺にロープを張り、人の立ち入りを禁止する。
作業の際は必ず保護具を着用する。

環境に対する注意事項

大量の場合は、流出した接着剤の流出を土砂、土のう等で防止する。
廃棄は『廃棄上の注意』の項による。

回収・中和

少量の場合は、紙や布で拭き取る。
大量の場合は、火花のでないシャベル等で密閉できる容器にすくい取る。

二次災害の防止策

付近の着火源となる物を速やかに取り除き、消火器材を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

火気厳禁。溶剤による希釈や品質の異なる接着剤との併用及び混合はしない。

取り扱い場所及び作業箇所は換気を行ない、施工後も接着剤が硬化するまで、通常の換気（日常生活の程度、朝夕1～2時間）を行なう。

使用時は目・皮膚等への接触を避けるため適切な保護具（手袋・長靴・保護マスク等）を着用する。使用時及び取り扱い箇所には、『火気厳禁』及び『立入禁止』の表示を行なう。一度開封した接着剤は、できるだけ早く使い切る。使い残した場合は密封して保管する。

作業中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を中止し必要に応じて医師の診察を受ける。身体や衣服に付いた時は、すみやかに石鹼水等で洗い落とす。

使用箇所及び張付け材料は、容器の表示を確認し使用する。

保管

貯蔵箇所は火気厳禁の表示を行ない『消防法』に従い貯蔵する。

直射日光を避け、容器を密閉して5℃～35℃の環境で子供の手の届かない屋内に場所を定めて保管する。誤飲防止と食品への混入を避けるた

技術的対策

め、保管場所は食品と区別する。
 消防法・労働安全衛生法等の、法令に従う。取扱い後・休憩前は手洗い、うがい、洗顔等を行う。
 現場施工用接着剤です。食品への混入を避ける為、食品容器、給餌器等には使用できません。
 使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処分を委託する。
 河川・湖沼・下水道などへ廃棄したり、流入させない。
 使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読み下さい。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

	管理濃度(厚生労働省)	許容濃度(産衛学会)	ACGIH
エポキシ樹脂等	未設定		
充填材(炭酸カルシウム)	未設定		
酸化チタン(IV)	未設定	1mg/m ³ (inhalated dusts) 4mg/m ³ (total dusts)(産衛学会)	TWA 10mg/m ³ , (ACGIH)
その他	未設定		

設備対策

局所排気装置等の換気装置を設置した場所で行う。

保護具

呼吸器の保護具

有機ガス用防毒マスクを着用する。

手の保護具

不浸透性保護手袋(ポリエチレン・ゴム製等)を着用する。

眼の保護具

保護メガネを着用する。

皮膚及び身体の保護具

長袖作業着を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状

パテ状

色

白色

臭い

特異な臭気

沸点、初留点及び沸騰範囲

情報なし

引火点

250℃以上 (その他)

自然発火温度

情報なし

蒸気密度

空気より重い。

比重(密度)

1.70~1.90 (g/cm³)

溶解性

水に不溶。

オクタノール／水分配係数

情報なし

粘度

550~1,100Pa・s

その他

揮発性：僅かにあり。

10. 安定性及び反応性

安定性

法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。

危険有害反応可能性

加熱、アルカリ物質、触媒等との接触により重合を開始する。

避けるべき条件

現在のところ知見なし。

危険有害な分解生成物

現在のところ知見なし。

11. 有害性情報

急性毒性

経口

ラット LD50 11,000mg/kg (エポキシ樹脂)

経皮

現在のところ知見なし。

吸入

現在のところ知見なし。

皮膚腐食性／刺激性

腐食性なし。

ANSI Class 2 エポキシ樹脂 皮膚に弱い刺激性がある。	
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	ANSI Class 2 エポキシ樹脂 目に弱い刺激性がある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	皮膚に刺激性がある。
生殖細胞変異原性	労働省通達により既存変異原化学物質に指定されている。
発がん性	IARC基準のカテゴリー3（*） （*）人についての発ガン性については分類できない物質。
生殖毒性	現在のところ知見なし。
有害性その他	慢性毒性：現在のところ知見なし。 催奇形性：現在のところ知見なし。 その他：容器表示項目 警告表示：『可燃性あり』『有害性あり』『皮フ刺激性あり』 禁止・注意：『火気厳禁』『吸入注意』『接触注意』
酸化チタン(IV)として	
急性毒性：経口	ラット LD50>10000mg/kg（IUCLID（2000））の記載より区分外とした。
急性毒性：経皮	ウサギ approx. LD>10000mg/kg（IUCLID（2000））の記載より区分外とした。
急性毒性：吸入（気体）	GHS定義による固体
急性毒性：吸入（蒸気）	データがなく分類できない。
急性毒性：吸入（粉じん）	ラット LC>6.82mg/L/4h（IUCLID（2000））の記載より区分外とした。
急性毒性：吸入（ミスト）	ラット LC>6.82mg/L/4h（IUCLID（2000））の記載より区分外とした。
皮膚腐食性／刺激性	ウサギの試験でslightly irritating，及び not irritating（IUCLID（2000））の記載より区分外とした。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	ウサギの試験でmild（IUCLID（2000））との記載より区分2Bとした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性：データがなく分類できない。 皮膚感作性：ヒト、パッチテストで陰性（IUCLID（2000））の記載より区分外とした。
生殖細胞変異原性	マウス小核試験で陰性、及びマウス染色体異常試験で陰性（NTPDB（2005））の記載より区分外とした。
発がん性	IARCでグループ3、ACGIHでA4に分類されていることより区分外とした。
生殖毒性	データがなく分類できない。
特定標的臓器毒性（単回暴露）	ヒュームは気道を刺激する（HSDB（2005））の記載より区分3（気道刺激性）に分類した。
吸引性呼吸器有害性	データがなく分類できない

1 2. 環境影響情報

環境に対する有害性	
水生環境急性有害性	現在のところ知見なし。
水生環境慢性有害性	現在のところ知見なし。
生態毒性	現在のところ知見なし
酸化チタン(IV)として	
環境に対する有害性	水生環境急性有害性：甲殻類（オオミジンコ）の48時間EC50>1000000 μg/L（AQUIRE、2003）他から、本物質の水溶解度（不溶（HSDB、2004））において当該毒性を示さないことが示唆されるため、区分外とした。 水生環境慢性有害性：水溶解度までの濃度で急性毒性が報告されていないが、金属化合物であり水中での挙動が不明であるため、区分4とした。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	産業廃棄物〔廃油と廃プラスチック類の混合物〕として廃棄物の処理及び清掃に関する法律並びに都道府県条例等に基づく許可を受けた専門業者に委託する。使用済み容器、ウエス等も同様である。
-------	---

1 4. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報	I M Oの規定に従う。
UN No.	1325
Proper Shipping Name.	FLAMMABLE SOLID, ORGANIC, N.O.S.
Class	4.1
Packing Group	II
Marine Pollutant	Not applicable
航空規制情報	I C A O／I A T Aの規定に従う。
UN No.	1325
Proper Shipping Name.	FLAMMABLE SOLID, ORGANIC, N.O.S.
Class	4.1
Packing Group	II

国内規制

陸上規制情報	該当しない
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
国連番号	1325
品名	その他の可燃性物質（有機物）（固体）
クラス	4.1
容器等級	II
海洋汚染物質	非該当
航空規制情報	航空法の規定に従う。
国連番号	1325
品名	その他の可燃性物質（有機物）（固体）
クラス	4.1
容器等級	II
緊急時応急措置指針番号	133

15. 適用法令

化審法	優先評価化学物質（法第2条第5項）
労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）
消防法	指定可燃物 可燃性固体類
海洋汚染防止法	有害液体物質（Z類物質）（施行令別表第1）
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項（2）
船舶安全法	可燃性物質類・可燃性物質（危規則第2，3条危険物告示別表第1）
航空法	可燃性物質類・可燃性物質（施行規則第194条危険物告示別表第1）
港則法	危険物・可燃性物質（法第21条2、則第12条、昭和54告示547別表二）
参考データ（日本産業衛生学会）	許容濃度勧告物質
じん肺法	法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）	産業廃棄物（法第2条第4項）
労働省労働基準局長通達 基発 第312号の2の別添	『変異原性が認められた化学物質による健康障害を防止のための指針』（平成5年5月17日）

16. その他の情報

J I S A 5548	『陶磁器質タイル用接着剤』	J T C C M 認証番号：T C 04 07 08
9 F☆☆☆☆		
連絡先	情報なし	
参考文献	独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）「GHS分類結果データベース」 日本ケミカルデータベース株式会社 法規制データベース「ezCRIC」 日本ケミカルデータベース株式会社 「ケミカルデータベース」 製品安全データシート指針（日本化学工業協会）	

化学物質等の危険有害性等表示制度（労働基準調査会）
化学物質安全性情報の提供について（食品薬品安全センター）
化学品法令集 化学工業日報社（1991）
『新エポキシ樹脂・硬化剤 正しい取扱いの手引き』（労働基準監督局
1997）

15911の化学商品 化学工業日報社（2011）

その他

危険有害性の評価は必ずしも充分ではないので取扱いには注意して下さい。

記載内容は、現時点で入手できる資料・情報及び試験に基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂される事があります。

全ての化学製品は、未知の有害性があり得るため、取扱いには充分注意する必要があります。又、記載内容は安全性に関する情報提供であって、製品の保証書ではありません。

注意事項は、通常の手取扱いを対象としたもので、特別な取扱いをする場合は用途・使用方法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。

建材からのVOC放散速度基準：
（日本接着剤工業会）

4VOC基準適合 J A I A - 4 0 1 6 3 5